

活動報告書

豊年祭と耕作放棄地活用や地域産農作物による地域活性化

■市町村名■

沖縄県うるま市与那城伊計

■活動主体または地域リーダー■

伊計自治会
自治会長 玉城 正則

■活動日■

- ・令和5年 4月 9日 (麦刈体験)
- ・令和5年 4月 9日 (脱穀作業)
- ・令和5年 6月 6日 (製粉受け取り)
- ・令和5年 8月 17日 (緑肥播種)
- ・令和5年10月 中旬 (緑肥鋤込み)
- ・令和5年11月 14日 (肥料蒔き)
- ・令和5年11月 16日 (麦播種)
- ・令和5年12月 1日 (ヒマワリ播種)
- ・令和5年12月 6日 (道路沿いヒマワリ播種)
- ・令和5年12月 22日 (機械麦踏)
- ・令和5年12月 23日 (麦踏体験)
- ・令和5年12月 25日 (麦種補完植付け)

■参加者、人数■

約60人

■関連事業■

■基金事業を活用した理由■

農村公園を活用し、五穀豊穰と地域の繁栄を祝う“豊年祭”の開催を通して地域の農業への興味関心を啓発し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層での世代間交流と地域芸能の伝承を行なう事により住民の団結と活性化に寄与する。また、不耕作農地に昔地元で栽培されていた麦を植える事により、不耕作農地の解消、麦生産復活と生産継続を通して地域リーダーの育成を図る。地域住民と伊計島への移住者によって、麦を活用した特産品の開発や麦の手刈り作業を行う事により地域住民と移住者の交流を図り地域活性化に資する。

■活動内容■

伊計島内農地におけるサトウキビ、芋、葉タバコに続く第4の基幹作物として麦を生産し、その作業過程で参加者の交流を図り、特産品化する事により伊計島及び島しょ地域の活性化に寄与する。

■活動効果■

R2年度より本事業を活用し麦の第4の基幹作物化・特産品化を行ってきた。当初島内の麦生産面積は約660㎡であったが、現在では約22,440㎡まで増加した。その作業過程で麦踏み体験や収穫体験等を行い地域住人や移住者との交流の場を作ることが出来た。加えて、他自治会からの視察等を通じ本事業の周知を行った。また、活動で生産した麦を使用したサーターアンダギー、焙煎麦茶、小麦コーヒーといった特産品を生み出し、今後島内で麦を生産する可能性を見出す結果となった。

■活動費用■

552,950円 (内、ふるさと農村活性化基金500,000円)

【写真集】①



麦刈り体験



麦刈り



麦刈り



麦刈り



麦播種前肥料入れ



肥料鋤込み



麦播種作業



麦播種作業

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

【写真集】②



ヒマワリ播種



ヒマワリ播種



ヒマワリ播種



ヒマワリの種鋤込み



ヒマワリの種鋤込み



麦踏み体験



麦踏み体験



麦踏み体験

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

【写真集】 ③



横断幕



ヒマワリ畑



沿道のヒマワリ



ヒマワリと麦畑



具志川地区区長会へ自治会取り組みを説明



麦畑とヒマワリ



ヒマワリ畑



ヒマワリと麦畑を体感する

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。